ゴム製品の設計品質を高めるための

WEB受講可能！

製品設計に役立つゴム材料の勘所と最適設計手法

◆日　時：2025年6月4日（水）10:00～16:30
◆会　場：TH企画セミナールームA ※会場/WEB 選択可
（東京・JR田町駅下車 徒歩約6分）

◆受講料：（消費税等込）　1名：49,500円
同一セミナー 同一企業同時複数人数申込の場合　1名：44,000円
◆受講資料：製本テキスト(受講料に含)
※別途テキストの送付先1件につき、配送料1,210円（内税）

ゴム材料の基礎・応用、多くの自動車部品の事例、具体的な使用方法、設計・取り扱い上の留意点について、事例を踏まえ、双方向のコミュニケーション実践的に分かりやすく解説する特別セミナー！！

【講師の言葉】

ゴム材料はゴム特有の弾性特性し、シール部品やホースなど多くの部品に用いられています。ゴム材料は液状の高分子材料を原料とし、多くの添加剤を混合し且つゴム独特の架橋操作を用いて製造しているので、金属や樹脂に比べて本質的に不安定で、重要品質問題を引き起すのが現状です。

しかし、多くのゴムメーカーはその組成・製法をノウハウとし、開示していません。

本セミナーではゴム材料の基本知識と特性、成型法等を学ぶことによって、良い設計・取り扱いをするためのポイントを習得していただくことを狙いとしています。

【受講形式】 会場・ＷＥＢ　※WEB受講の場合、Live配信のみ（録画視聴はありません）

【受講対象】 関心のある方ならどなたでも受講できます。
双方向のコミュニケーションをとりながら理解を深めていきます。
WEB受講の場合、音声マイクを使用できるようにご準備してください。

【予備知識】 特にありません。
講師と受講者とやり取りしながら講義進行するので、未経験者でも理解が深まります。

【習得知識】
1）重要品質問題を起こしやすいゴム材料について、その基礎から応用まで総括して学べる
2）具体的な使用方法や設計・取り扱い上の留意点を習得できる
3）多くの自動車部品の事例を知ることで、具体的な使用方法や設計・取り扱い上の留意点を習得できる

◆セミナーお申込要領

●申し込み方法
・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

●お支払い方法
受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。
経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。
振り込み手数料は御社の御負担にてお願いします。

●申込先 TH企画セミナーセンター
株式会社 TH企画
〒108-0014 東京都港区芝4-5-11-5F
TEL：03－6435－1138
FAX：03－6435－3685
E－mail：th@thplan.com
検索 TH企画 → サイト内検索 0604（開催日）

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。
https://www.thplan.com/

セミナーご案内 関連部署へご回覧願います

◆プログラム◆

【講師】テクノサポートオーテス 代表（株）ワールドテック　講師　岡本　邦夫 先生
（株）ワールドテック 講師，愛知工科大学 非常勤講師

1. ゴム材料の概要
1-1 ゴム材料を理解するために
1-2 ゴムの定義
1-3 高分子材料の利用分野
1-4 ゴム材料の用途
1-5 高品質な製品作りと取り扱いのポイント

2. ゴム材料の基礎
2-1 ゴムの種類
2-2 ゴムとばねの伸縮メカニズムの違い
2-3 高分子材料とゴムの関係
2-4 ゴム部品と熱可塑性樹脂製品の比較

3. ゴム材料の特性
3-1 ゴム材料の機械的性質
3-2 ゴム材料の粘弾性特性
3-3 ゴム材料の防振性
3-4 ゴム材料の疲労劣化
3-5 ゴムの寒さ対策
3-6 ゴムの耐水・耐油対策
3-7 ゴム材料の劣化
3-8 ゴム材料の寿命評価法

4. ゴム材料各論
4-1 ゴムの分類と種類
4-2 生ゴムの表示法
4-3 各種生ゴムについて
4-4 熱可塑性エラストマー
（TPE:Thermo Plastic lastomer）

5. ニーズに応える材料つくり
5-1 ニーズに応える材料つくりとは
5-2 強いゴムを作る方法
5-3 ゴムの硬さを調整する方法
5-4 ゴム材料の伸びと架橋密度の関係
5-5 残留ひずみと架橋密度の関係
5-6 耐摩耗性を向上させるためには
5-7 耐候性を向上させるには
5-8 耐疲労性を向上する方法

6. ゴム製品と材料の特徴
6-1 代表的なシール製品
6-2 特殊なゴム材料と製品

7. ゴム材料の製法
7-1 製造事例（Oリングのプレス・金型成型）
7-2 ゴム材料の製法とその特徴
7-3 生ゴムからゴム材料へのプロセス

8. ゴム材料のトラブルと対策
8-1 加硫ゴムのトラブル要因
8-2 トラブル解析の具体的手法
8-3 ゴム材料のトラブル事例と対策

質疑・応答

【受講者の声】
・ゴムに関する知識を学ぶ貴重な機会だった。講義で使用した資料をテキストとして配布してくれた点もよかった（後で見返すことができる）。
・基本的な所、参加者の所属に合わせて丁寧な対応をしてくれた。
・ゴム材料について多くの知識を習得することができた。ありがとうございました。
・講師の経験に基づく話で分かりやすかった。資料も参考になります。

●申込書 ・2025年6月4日（水）「製品設計に役立つゴム材料の勘所と最適設計手法」

会社名		〒		住所	
TEL				FAX	
正式所属				正式所属	
受講者名				受講者名	
E-mail				E-mail	
振り込み予定				通信欄	